

V YA^{*1}世代を対象とした取組 ※仮案（12/5 策定懇にて審議予定）

3 図書館

(1) 今後充実していく主な取組

① 調べ案内（パスファインダー^{*2}）の拡充

・YA世代に向けて、調べ案内（パスファインダー）を作成し、YA世代の興味やニーズに合わせて、調べ案内（パスファインダー）のテーマを定期的に拡充します。また、その内容について、必要に応じて更新・修正を行います。

② 情報発信の充実

・図書館ホームページを活用して広報を推進します。YA世代向けの新着図書やおすすめ本リストをホームページ上に掲載するとともに、YA世代との共同編集・発行を行っている「CATCH」に関する情報（編集者募集や投稿用フォームの提供等）を発信します。

・イベント告知については、「西東京市子ども電子図書館」のサイト内や市SNSを活用するとともに、保護者や教員、学校司書など、YA世代に身近な大人への周知に努め、より広域な情報提供を目指します。

・図書館ホームページ内に、市内小・中学校教員または学校司書へ向けたコンテンツを作成し、図書館の利用案内や団体貸出・資料搬送の利用方法、また「いいね！！西東京市図書館おすすめ（セレクト）本」の貸出、パスファインダー情報等について周知を図ります。

③ 「西東京市ふるさと探究学習」への対応

・西東京市に関する情報の提供や、西東京市の歴史について幅広い年代へ講ずることのできる講師を招いての地域を知るための講演会の実施などを通して、地域をテーマにした学習を支援します。

④ 電子書籍サービスの充実

・「西東京市子ども電子図書館」サービスによる電子書籍の提供を進めます。提供の方向性について、社会情勢の変化を鑑みながら検討を重ねていきます。

(2) 前計画に引き続き推進していく主な取組

① 魅力ある書架づくりと居場所づくりの工夫

- ・「西東京市図書館資料収集基準」に基づき、資料を収集し充実を図ります。テーマ展示の実施やYA世代のニーズに応じた資料を収集し、魅力ある書架づくりを行います。
- ・図書館が、家庭でも学校でもない落ち着ける空間として、この世代が立ち寄りやすく、心地よい場所となるよう努めます。

② 参加型事業の実施

- ・読書会等、本を通じて同世代のコミュニケーションを楽しむイベントや、読書への意欲が高まったり、読書の幅が広がるイベント、また、図書館利用のきっかけとなる体験型イベント（ワークショップ等）を実施します。

③ 図書館利用に困難があるYA世代への支援の充実

- ・特別な支援を必要とするYA世代には、点字図書やマルチメディアデジター図書、大活字本、LLブック等を収集して提供します。提供にあたっては、ハンディキャップサービス資料を集めた書架「いろいろな読書コーナー」やハンディキャップサービスの利用案内を活用し、必要とする子どもやその保護者に届くような広報や情報提供に努めます。
- ・日本語を母語としない子どもたちとその保護者には、多文化サービス担当職員と協力し、外国語資料等を収集して提供します。また、やさしい日本語による情報提供を行います。

④ 図書館の活用方法を伝える事業の実施

- ・「図書館を使った調べる学習コンクール」の開催や関連展示の実施等、身近な疑問・課題に取り組む中学生を支援します。

⑤ 職場体験および「一日図書館員」の受け入れ

- ・職場体験の受け入れや「一日図書館員」を実施し、図書館の様々な仕事を体験してもらいます。体験を通して図書館への理解と関心を深めることで、図書館利用の促進を図ります。

⑥ 発行物による情報提供

- ・中学生向けおすすめ本リスト「道しるべ」「道しるべ2」、「すいせん図書」、YA世代との共同編集で作成している「CATCH」^{※3}を発行し、YA世代に本の情報を提供します。

⑦ 義務教育終了後の子どもへの図書館利用の周知

- ・ 中学3年生に「卒業お祝いメッセージカード」を配布し、生涯にわたる学習を保障し支援する公共図書館の利用を呼びかけていきます。

⑧ 司書の派遣

- ・ 中学校・高等学校等からの要請に応じ、YAサービス担当司書を派遣します。
- ・ 中学校への出前講座「まちなか先生」を要望に応じて実施し、図書館利用のきっかけを作ります。

⑨ 中学校・高等学校等、関係諸機関への協力と連携

- ・ 中学校や高等学校等、関係諸機関の団体貸出の利用促進と迅速な資料提供を継続して実施します。
- ・ 中学校・高等学校等から依頼された学習のテーマに沿った資料を取りそろえ貸出しを行います。
- ・ 中学校、児童館等への除籍資料の配布を継続して行い、資料の有効活用と地域における子どもの読書環境の充実を図ります。

⑩ 子どもの読書活動推進に関する企画の実施

- ・ 子どもの読書活動を推進する講演会及び講座を実施する際は、市民団体等と連携した事業の実施に努めます。

⑪ YAサービス担当司書の研修の充実

- ・ 子どもの読書活動を十分に推進できるよう、積極的に研修に参加し読書相談や読書活動に必要とされる知識を習得し、専門性の向上に努めます。
- ・ 参加した研修内容を共有することで担当全体のレベルアップを図ります。